（1）新年早々うたごえ

（2）事業団・大牟田市（懇談会）

SOLIDARITE「連帯」
ソリダリテ
建交労大牟田支部通信　（No. 63）

2022年新年早々

うたごえは平和の力！
うたごえは闘いと共に！

2022年の夜明けは、全日自労大牟田合唱団の代表作「大行進のうた」でド派手に幕開けです。

これに勢いついた仲間たちは、「宝の海よ」「手」「老いて輝く」など、うたごえ運動の前衛的なこの地で、呑め（ノンアル）や歌えや旗開きの殆どがにぎやかに過ぎていきました。

編集長が加盟して初めてのことではないでしょうか。

新たな時代に挑戦する建交労大牟田支部の心が熱くなるひと時をみんなで過ごしました。

翌日には、今年の参議院選挙・予定候補まじま省三さんと、力合わせ市民の苦難軽減に挑戦する日本共産党大牟田市議会議員の崎山恵子さん、北岡あやさんが新年の挨拶にみえられました。

経理担当の猿渡さんから、生活困窮者自立支援法福岡県認定事業所となった事や火力発電所アスベスト事件の始まりを伝えられ、まじまさんと2人の共産党市議の日ごろの相談活動の延長線上に我々事業団が受け皿にもなる構図になった。

（写真・まじま省三さんSNSより抜粋）

じかたび

私たちは一昨年から大牟田市保健所を取り戻すべく、全国各地での署名運動と署名様式、提出先などを調査しひな形を作ってきました。

大牟田市保健所は公務員削減の為に福岡県へ自ら返上し、全国でも類をみない恥ずべき事です。

編集長の師たる方は「何で労働組合が保健所の問題に躍起になるとね？　この手の問題は医療機関が先頭に立ってするべきじゃないとね？」

確かにそう。

ただ私たちは労災職業病の機能を持っている為、労働者性のない一人親方や一般市民の石綿被害の補償を担う「石綿健康被害救済制度」を活用したこともある。

全国至る所で建築物解体のピークに突入していく。

昨年の建設アスベスト最高裁判決。情勢は「アスベスト被害は建設労働者だけではない」「コロナで保健所の必要性」が問われている。

連携する民主団体にこの運動を理解してもらうにも一苦労しましたが、運動が進みそうです。本当の闘いはここから、闘いは今から！

事業団の必要性を！

大牟田市懇談

1月14日、伊丹のバースこと高木事業団部会長を大牟田に招き、大牟田市総合相談窓口：松枝課長・大曲主幹の2名と、生活困窮者自立支援で福岡県での実質初となる認定事業所の存在は大きいなどのコメントあり。

定事業所「企業組合大牟田市雇用福祉事業団」との懇談会を行いました。

大牟田市の現状は、福祉課相談窓口での相談件数はコロナ以前より3倍化、生活困窮者自立支援認定事業所の存在は大きいなどのコメントあり。

高木部会長から、貧困が招く様々な不幸。

厚労省ワーキンググループでの現時点の到達。

事業団から実績を紹介。

当該部署から契約審査室へ事業団との随意契約の為に書類提出しているとの事。

この結果がどう出るか分かりませんが、自治体は動き出したようです。

【募集】

組合員のみなさんから、記事を募集します。　日頃の何気ないエピソードや、「うちの子、うちの孫ちゃん」なども喜んで掲載します。

300文字以内のお知らせと写真を提供してください。　より豊かな新聞づくりに励みますのでご協力よろしくお願いします。

＜行事予定＞

２月　１日（火）　トンネルじん肺第７陣全国一斉提訴
　　１７：００～発電所建設アスベスト事件弁護団会議
　４日（金）１０：００～労職分会定例会（中止）
　５日（土）１０：００～じん肺キャラバン実行委員会（ＺＯＯＭ併用）
　　１４：００～民間分会定例会
　６日（日）１３：００～県労連評議員会（ＺＯＯＭ）
　７日（月）１３：００～公共一般分会定例会
　８日（火）１４：００～県労連事務局長会議（ＺＯＯＭ）
１０日（木）１０：３０～県本部執行委員会
１５日（火）１４：００～社保協幹事会
　　１６：００～地区労連幹事会
１７日（木）　８：３０～支部執行委員会
　　１３：３０～労職部会若手専従者会議
　　（ＺＯＯＭ）
２２日（火）１３：１０～じん肺遺族補償取り消し訴訟
　　判決・福岡高裁
３月　３日（木）　春の中央行動
　４日（金）　春の中央行動
１１日（金）　重税反対集会

健康相談会（1月末時点）

- 石綿健康管理手帳：５名
- じん肺管理区分４　：１名
- じん肺管理区分２　：２名
- じん肺合併症決定　：２名
- 合併症申請予定　：３名
- じん肺遺族補償決定　：２名
- 石綿遺族補償認定　：１名
- 騒音性難聴認定　：１名